



「いっぴんいち@日本橋問屋街 2023」開催！
～日本橋問屋街さんかくプログラム 2022 の実証実験の場にも～

独立行政法人都市再生機構（以下「UR 都市機構」）と日本橋横山町・馬喰町まちづくり会社が推進する「日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム」は、+PLUSLOBBY 日本橋問屋街※とともに、出店者が旬で自信のある“逸品”を“一品”だけ持ち寄り、こだわりの商品が集まる街のマルシェ「いっぴんいち@日本橋問屋街 2023」を開催いたします。



「いっぴんいち」マーク

今回の「いっぴんいち」には、地元の間屋や企業による出店に加え、昨年に引き続き、当エリアの街づくりに資する活動を行う人材を育てる「日本橋問屋街さんかくプログラム 2022」の参画者が、事業化に向けたプレマーケティング等の実証実験の機会として出店します。スイーツや珈琲などの飲食販売の他、デジタルアートやモザイクタイルの展示、紙問屋による子ども向けワークショップ、UR 都市機構によるまち歩きツアーなどの様々な企画を予定しています。

※+PLUSLOBBY 日本橋問屋街は、オープンでフラットな街の対話と交流の拠点として、令和2年11月より活動しています。

○問合せ先

UR都市機構 東日本都市再生本部

都心業務部 事業推進第1課 (電話) 03-5200-8605

総務部 総務課(広報担当) (電話) 03-5323-0625

1 開催概要

名 称：いっぴんいち@日本橋問屋街 2023

開 催 日：2023 年 1 月 21 日（土）～ 1 月 22 日（日）

開 催 時 間：10：00～17：00（（注）店舗によって異なる場合があります。）

出 店 舗 数：26 店舗

（注）「いっぴんいち」マークがついているお店が「いっぴんいち」参加店舗です。

日本橋問屋街全体で小売りをするものではありません。

会 場：+PLUSLOBBY

日本橋問屋街エリア（日本橋横山町および日本橋馬喰町）の各店舗

ア ク セ ス：JR 馬喰町駅、都営浅草線東日本橋駅、都営新宿線馬喰横山駅 徒歩約 5 分

Facebook：<https://www.facebook.com/events/1034676917475613>

主 催：日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム、

+PLUSLOBBY 日本橋問屋街

協 力：UR 都市機構、問屋街有志、（株）エンジョイワークス、（合）パッチワークス

2 いっぴんいちについて

「いっぴんいち」とは、「みんなの逸品を一品持ち寄る」というコンセプトのもと、出店者が旬で自信のある商品を 1 種類に絞って出品する、こだわりの商品が集まる街のマルシェで、2016 年より調布、虎ノ門、南青山などの都内各所で開催されています。

江戸時代から続く有数の衣料品問屋街である日本橋問屋街で開催されるいっぴんいちでは、老舗はもちろん、一般の店や日本橋問屋街にこれから参加したいと希望する人達が出店します。2021 年 10 月に開催された「いっぴんいち@日本橋問屋街」では、問屋をはじめ、街内外の店舗・企業が 29 店舗参加しました。今回の「いっぴんいち」では、地元問屋・企業やさんかくプログラムの参画者などの 26 店舗が出店を行う予定です。



「いっぴんいち@日本橋問屋街 2021」開催時の様子

3 日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラムについて

日本最大の衣料品の問屋街である横山町・馬喰町エリアでは、2021 年度からまちの遊休不動産の活用やまちづくりに資する活動を行う人材を育てる「日本橋横山町・馬喰町エリア参画推進プログラム（通称：さんかくプログラム）」を実施しています。

さんかくプログラムでは、アイデアや想いのある中小事業者がこのエリアで事業を実現し、継続できるように計画をサポートする創業支援を行います。エントリーした参画者は書類審査と面談審査を通過すると、専門知識をもつメンターによるメンタリング（個別相談）に加え、事業性の事前検証を目的に、現地での実証実験の機会を得ることができます。

さんかくプログラム 2022 では 8 月から応募を開始し、現在 1 次、2 次選考を経て 14 組の方々がメンタリングを通して、事業化を目指しています。その後、最終選考を通過した参画者は、まちの遊休不動産や空きスペースにて事業をスタートする予定です。



昨年度実証実験：oimo_tokyo 森迫氏



今年度実証実験出店作品：yard（安立氏）

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR 都市機構は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

